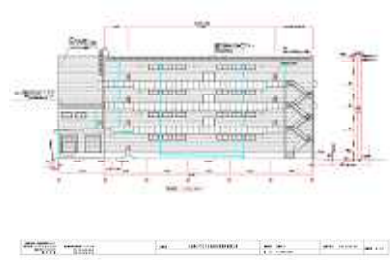


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	TOPS海老名事業所	階数	地上4F	
建設地	神奈川県海老名市本郷字本宿2334	構造	S造	
用途地域	工業地域	平均居住人員	100 人	
気候区分		年間使用時間	3,100 時間/年	
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2013年2月 0.0	評価の実施日	2013年1月25日	
敷地面積	4,229 m ²	作成者	(株)ヒグチアソシエツ	
建築面積	2,530 m ²	確認日		
延床面積	8,379 m ²	確認者		



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設: 100%
 修繕・更新・解体: 81%
 運用: 81%
 オフサイト: 81%
 オンサイト: 81%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 接道部には可能な限り緑地を配置し、周辺の景観に配慮した。また、断熱性能のよいALC版の外壁と屋根には断熱材としてグラスウールを採用することにより建物の熱負荷低減に配慮した。		その他 0
Q1 室内環境 外皮に断熱材を使用することにより、室内への熱の侵入に対する配慮。	Q2 サービス性能 長寿命な部品・部材の採用	Q3 室外環境 (敷地内) 外皮に断熱材を使用することにより、室内への熱の侵入に対する配慮。
LR1 エネルギー 外壁には断熱性の高いALC板、屋根にはグラスウールを使用し外部からの熱負荷を軽減している。高効率な個別空調システムとLED照明器具を採用し一次エネルギーの低減している。	LR2 資源・マテリアル 大便器、小便器、洗面器に節水器具を採用し節水に取り組む。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を設置しないことにより、大気汚染防止に努めている。また雨水処理対策を実施している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される